

平成27年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	新規・継続	事業名	予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	取組の成果	今後の方向性
1 安全・安心まちづくり									
1	継続	麻生区安全・安心まちづくり事業	2,028,000	1,996,003	危機管理担当	・社会情勢に即応した課題を共通認識し、住民、地域団体、事業者、行政機関等の連携及び協働により、区民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進める。 ・死亡事故に直結することの多い自転車事故を回避するための判断力向上に向け、事故の瞬間、現場を目で見て学ぶことを目的に「スクエアドストレート交通安全教室（スタントマンによる自転車事故の再現）」を実施する。 ・増加傾向にある高齢者の事故防止のため、民間自動車教習所で高齢者が安全な交通運転技術を習得する「シルバー・ドライビングスクール」を実施する。	・ネットトラブル防止研修会、振り込め詐欺防止研修会、パトロール手法の講習会を開催 ・パトロール用品の貸与 ・セーフティメールの配信実施、登録者増加に向けた町会、小中学校を通じてチラシの回覧依頼、HPでの広報を実施 ・自転車事故防止教室（スクエアドストレート教育）、シルバードライビング教育の実施	・地域安全パトロール団体へのパトロール用品貸与及び研修会等を行うことにより、効果的・効率的なパトロールの実施、地域安全に対する取組力を強化する環境を整備した。 ・麻生区メール配信システムの登録促進、情報提供により、迅速な情報提供による対応力を強化した。 ・スクエアドストレート、交通安全教育、シルバー・ドライビングスクール実施により、交通事故防止の対応力を強化した。	今年度の取組みの成果を踏まえ、予算規模、事業内容及び人員とも同様に事業を行っていく。
2	継続	麻生区ガイドマップ増刷改訂事業	700,000	801,360	地域振興課	区民から好評を得ている麻生区ガイドマップを、最新の情報に更新し、改訂版を発行する。配布方法は、転入者に転入時に配布することを中心に、区役所窓口にて必要な方に配布する。転入者を知ってもらいたい、放置自転車等放置禁止区域、路上喫煙防止重点区域の掲載や、転入者が転入して不安のないよう、災害緊急時の井戸の所在地や避難所一覧など防災情報も盛り込むなど、地図情報だけでなく、麻生の各種情報を盛り込んだものとする。	・麻生区ガイドマップの改訂・発行 ・区ホームページの地図データの更新	・紙質の変更、ラミネート枚数の削減、納品場所の見直し及び予算流用を行った結果、例年通り改訂・発行することができ、転入者及び市民に対して最新の情報を提供することができた。	他区の状況も考慮しながら、現在掲載している項目を基に関係者の意見を参考に掲載内容を検討する。
3	継続	麻生落書き消し事業	149,000	147,049	地域振興課	新百合ヶ丘駅周辺並びに百合ヶ丘駅及び柿生駅周辺等を中心とした落書き消しを実施し、駅周辺の美化と犯罪防止を目指す。また、町会・地区の要請による「出前落書き消し」を実施し、落書き消しのノウハウを伝え、区内の美化と安全で安心なまちづくりを推進していく。	・区内駅周辺等の一斉落書き消しの実施（3回）	・雨天により2回延期があったものの、計3回の落書き消しを行うことで、街の美観を保持するとともに、防犯効果をもたらした。	事業開始当初と比べ落書きが減少するなど効果が上がっており、今後も引き続き街の景観と防犯効果を維持するため、受託団体等と協議しながらより多くの区民への啓発と参加を促進していく。
4	継続	小学校区危険箇所案内マップ作製事業	303,000	295,596	危機管理担当	交通安全、犯罪に巻き込まれないことを目的に、平成23年度から、小学校区ごとに交通・防犯上の危険箇所を把握し、マップを作成している。事業を開始した平成23年度及び平成26年度は、1年生から3年生までに配布しているが、平成24、25年度は4月に入学する新1年生用に必要部数を増刷、本年度は、新1年生分を配布する。	小学校区危険箇所案内マップの作製・配布を行った。	新入学児童の家庭等に交通・防犯上の危険箇所の周知ができ、交通事故の防止と防犯意識の向上に繋がった。	計画どおり、危険箇所案内マップの発行部数は、新入学児童分を印刷し配布する。
5	継続	地域防災力の向上事業	2,848,000	2,453,446	危機管理担当	帰宅困難者対策や避難所対策の訓練を地域や関係部署と連携して行い、災害時対応の強化を図ると共に、事務局を担う自主防災組織及び災害対策連絡協議会への支援・連携により、共助体制の強化を図る。風水害時における避難所対応強化のためのマニュアル作成や必要物品の購入を進める。また、職員防災プロジェクトチームの運営により、職員の防災意識の向上と緊急時における行動の習得によって、災害対応の充実に図る。	・災害対策連絡協議会における協議・訓練の推進 ・職員防災プロジェクトチーム主催による区職員向け防災研修の実施	帰宅困難者受入訓練の実施、避難所宿泊訓練の実施、非常用浄水装置の購入及び訓練の実施、職員防災プロジェクトチームメンバーの帰宅困難者受入訓練への参加及び研修の実施並びにプロジェクトチーム主催の区職員あて防災研修の実施、自主防災組織及び避難所運営会議への支援の実施、各種研修会や各自主防災組織の防災訓練の場における自助の重要性の広報及び啓発活動の実施、風水害時における避難所運営マニュアルの作成。	非常用浄水装置の購入や、避難所宿泊訓練などは事業を継続して行う。その他の予算執行を伴わない取組についても継続して行う。ただし、本部体制の充実のための購入品については、その時々々の時勢を鑑みて購入品目の見直しを行っていく。
2 地域福祉・健康づくり									
6	継続	あさお福祉まつり	2,344,000	2,226,358	地域保健福祉課	区内で地域福祉活動に携わる当事者・ボランティア・施設などの活動を広く区民に知らせると共に、福祉について理解を深める「あさお福祉まつり」を開催する。	平成27年11月15日（日）に開催。福祉関係団体76団体が参加。当日来場者約6,500人。	麻生区では、福祉分野の恒例行事として定着しており、今回も区内福祉団体・ボランティアの活動紹介やパネル展示、車椅子体験等の体験コーナー、福祉施設等の自主製品の販売などを行った。福祉関係団体の参加は76団体、当日来場者は約6,500人で、多くの区民に地域福祉活動の周知を図ることができ、また参加団体同士のつながり、連携の強化の一助となったと考える。また、参加団体により積極的に運営業務に関わる体制づくりと事業実施経費の削減を進めることができた。	当事業は今年で26回目を迎え、来場者6,000人規模の実績を誇る、麻生区でも定着したまつりである。また、区民発意のより自主的な運営を継続しており、今後も引き続き事業運営体制や必要経費の精査を行い、区民自らで作り上げる福祉事業として継続していく予定である。
7	継続	ウォーキングマップ活用健康づくり推進事業	900,000	820,324	地域保健福祉課	歩行習慣のない区民を対象に、より身近な地域でウォーキングが開始できるよう支援し、広くウォーキングの普及を図ることによって、生活習慣病の予防及び介護予防を図る。	・体験ウォーク年10回実施 ・公園de健康ウォークを麻生区内6ヶ所の公園で実施 ・区民向けウォーキング普及啓発講習会1回	体験ウォークはほぼ毎回募集定員を上回る申し込みがあり、初回参加者は1～2割程度あり、ウォーキングを始めるきっかけづくりをすることができた。また、区民向け講習会を1回開催し、区民がウォーキングに安全に親しむ機会を設けた。公園ウォークのボランティアを増やすため、ボランティア養成教室を麻生区ウォーキング推進実行委員会と共催で実施した。	区民へのウォーキング習慣の普及をすに当たって、年10回開催の体験ウォークのようなイベント的なものではなく、地域の中で継続して参加できる公園ウォーク等の拠点を増やしていく方向で考えていく。
8	継続	高齢者見守りネットワーク事業	100,000	15,913	高齢・障害課	・事業活動を通じて高齢者と接することの多い民間事業者等と連携等することにより、異業のある高齢者や何らかの支援を必要としている高齢者を早期に発見し、必要な支援を行うなど、地域社会全体で高齢者を見守る体制を確保し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる地域づくりを目指します。	・情報交換会を開催し、協力事業者及び関係機関との連携を強化 ・パンフレットを活用した事業周知	・協力事業者、関係機関等による情報交換会を開催し、地域全体で高齢者を見守るためのネットワークの充実を図ることができました。 ・情報交換会における認知症徘徊高齢者に係る麻生警察署の講話やグループワークにより、高齢者の見守りに係る課題認識の共有化を図ることができました。	地域に密着した事業者と引き続き連携を図っていく必要があると認識しています。なお、川崎市地域見守りネットワーク事業により民間事業者とのネットワークが全市展開されていること、麻生区認知症ケア推進会議（オレンジプロジェクト）により地域の見守り体制の強化が推進されていることから本事業内容の見直しが必要であると考えます。
9	新規	健康づくり普及啓発事業	460,000	269,800	地域保健福祉課	ポスター、リーフレット、講演会、健康づくりのつどいの参加などにより、がん検診の普及啓発活動を行う。	・ポスター510部、リーフレット4300部作成、町会自治会等に掲示及び商店街連合会、中学校PTAに配布。・9月、10月に懸垂幕掲出・健康づくりのつどい参加・講演会の実施	・9月健康増進月間、10月がん検診普及啓発月間にあわせ懸垂幕の掲出、またこれに合わせて9月区民ビジョンでの放映を行った。・がん検診の関するリーフレット、ポスターを作成し、リーフレットは商店街連合会、区内中学校PTAに約4300部配布した。ポスターは歯科クリニック、薬局、町会自治会、イオンに約510か所掲示を依頼した。・10月健康づくりのつどいにおいて、乳がんの自己触診法体験を含むがん相談コーナーを開設し相談者約50名。・3月乳がんに関する講演会を実施した。	28年度は組織体制の変更に伴い、保育園・小中学校を通じた保護者への配布や、地域に出向き小グループへの健康教育など、より多くの市民への啓発活動を行っていく。
3 総合的なこども支援									
10	継続	子育て支援・企画事業	4,453,000	3,439,568	こども支援室	地域の子ども関連機関や団体と連携し、情報交換、研修、相互協力を行うことにより、地域の実情に合った総合的な子ども・子育て支援事業を実施する。	子ども関係機関との連携、情報共有により、様々な取組を実施し、子ども・子育て支援の推進を図った。	関係機関、団体との相互協力の下、情報交換や事例検討等を行うことにより、総合的な子ども・子育て支援に繋がることができた。また、地域に向けて様々な事業を展開し、子育て世帯への支援に繋がった。 ・麻生区子ども関連ネットワーク会議 全体会・研修会、区民向け講座、子育てグループ交流会の開催 ・子育て情報誌「きゅっとハグあさお」、「麻生区ちびっこおでかけMAP」等の作成・配布 ・ホームページ、子ども情報コーナー、あさお子育てポータルサイトの運用 ・子育てグループへの活動支援の実施（麻生区子育て人材バンク・子育てグループ交流会） ・区民向け講座、イベントの実施（父親向け子育て講座、親と子の遊びタイム等） ・幼・保・小連携事業の実施（幼稚園・保育園、小学校相互の訪問、交流、情報交換等） ・地域子育て支援事業（あさお子育てサポート保育園）の実施（保育相談、園庭開放、貸出絵本等） ・区内保育園交流・連携事業の実施（保育園長児交流サッカーで遊ぶ等）	今年度の実施結果を検証し、事業の構成や内容の見直しも含めた検討を行うとともに、地域全体で子育て世帯を支える子ども・子育て支援を推進する。
11	継続	こども関連大学連携事業	2,372,000	2,124,635	こども支援室	「麻生区・6大学 公学協働ネットワーク」に基づき、各大学の特色や資源などを活用し、総合的な子ども・子育て支援事業を推進する。	各大学との連携により、事業実施時にはより効果的な方法を検討しながら、大学の資源を活用した子育て支援を推進した。	・昭和音楽大学との連携事業（子どもと一緒にのコンサート、小学生音楽交流コンサート） ・和光大学との連携事業（夏休みファミリー体験学習in鶴見川） ・田園調布学園大学との連携事業（「あそぼう けろろの田園チャイルド」、アトリエ広場） ・日本映画大学との連携事業（こども映画大学） ・明治大学との連携事業（アグリ・エコファーム体験in明大黒川農場） ・玉川大学との連携事業（赤ちゃん学講座、「ロボット工房へ行く」）	今年度の実施結果を検証し、各大学とも調整を図りながら、事業の構成や内容の見直しも含めた検討を行い、より効果的な子ども・子育て支援を推進する。

平成27年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	新規・継続	事業名	予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	取組の成果	今後の方向性
12	継続	外国籍等こども学習支援事業	543,000	542,546	こども支援室	外国につながる児童・生徒たちの学習を地域で支援するため、学校での個別の学習支援や地域拠点（市民館・こども文化センターなど）での集団学習支援を行う。	・学校の授業中や放課後の個別指導 ・区内の公共施設における自由参加による集団支援 ・学校での支援における学校支援センターとの連携	・個々のレベルや実情に配慮した学習支援により、小・中学校における授業内容の理解を助け、学習力の向上を図る事が出来た。 ・長期休業（夏休み等）における集団支援には支援対象児童の家族や友人も参加しており、進路の選択等、児童・生徒の将来へ向けたさまざまな情報交換の場にもなっている。 ・学校支援センターと連携することで、担任との打ち合わせや支援日時の決定など学校との調整がより円滑になり、学習支援活動を効率的に行う事が出来た。 ・自主的な研修会、定例会におけるより良い支援へ向けた情報交換などを通じて、スタッフの支援能力の向上が図られた。	事業内容について、より一層の充実を図り、外国につながる児童・生徒たちの学習を地域で支援する活動を継続していく。
13	継続	こども相談・要保護児童支援事業	323,000	254,844	児童家庭課	0歳から18歳までの子育てで児童に関する様々な相談に対して、児童家庭課の複数の専門職が役割連携し協力して対応している。特に児童虐待の早期発見、早期対応に向けては、要保護児童対策地域協議会を軸に地域のネットワークを構築すると共に、必要に応じて、所内他部署や児童相談所、地域教育センター、保育園、学校、民生委員等とのカンファレンスや会議を実施し課題解決に向けて支援を行う。また、職員の対応スキルの向上を図るため研修会を実施し相談に活かしていく。	事例検討会（6回）、要保護児童対策地域協議会実務者会議（2回）、個別会議および進行管理会議（35回）、研修会（3回）	要保護児童対策地域協議会実務者会議では、虐待に関する研修やグループワークを通して更に関係機関との連携を強化した。個別会議やカンファレンスでは、ケースに関わる関係機関と密に連携し適切かつ迅速に支援することができた。研修会では、虐待防止や困難事例、乳幼児の発達に関わるテーマで具体的な対応を学び、職員の実践の向上と適切なケース支援につなげることができた。	虐待予防にむけた早期からの把握やケースの支援を含め更に地域や関係機関と連携を強化していく。虐待予防にむけた普及啓発について地域や様々な機会を活かして推進していく。子どもに関する幅広い相談に対応できるよう専門職の資質の向上を目指して研修会を実施していく。
14	新規	あさお子育てフェスタ開催事業	996,000	832,650	こども支援室	子育て世代が子育てにおける不安や悩みを抱え孤立することのないように、行政と地域の子育て支援団体等が協働して「子育てフェスタ」を開催し、必要な子育て支援の情報を届け、地域の団体とのつながり・子育て世代同士の交流の機会をつくり、日ごろのストレスや悩みの解消につなげる。	第2回あさお子育てフェスタを9月13日（日）に開催した。 ・来場者 約2,800人 ・参加団体 38団体	・昨年の参加団体を中心に子育てに係わる団体に参加を呼びかけ、「子育てするなら麻生区で～安心・楽しい・助かる～」をテーマに、子育て世帯が楽しめる遊び広場、おもちゃのコーナー、ミニコンサート、フリーマーケット、相談コーナーなど幅広い内容の催しを行った。	日頃から子育て支援を行う団体や地域の方の意見を取り入れながら企画検討を行い、内容の充実、参加者の利便性を図る必要がある。

4 環境まちづくり

15	継続	あさお花いっぱい推進事業	925,000	825,077	地域振興課	区民との協働による地域の環境美化及び地域コミュニティの推進を目的に、川崎市美化運動実施麻生支部と協働し、公共的空間にある花壇を自主的かつ継続的に管理している団体を支援していく。	自主的かつ継続的に花壇を管理している団体へ花苗等を提供することにより、団体の活動の活性化に寄与することができた。	今年度は27団体に花苗・球根などを提供し、団体の活動の活性化及び地域の環境美化活動の一端を担うことができた。（昨年度は28団体に提供）	自主的かつ継続的に花壇を管理している団体の活動の助成、地域に根ざした活動の発展、地域の環境美化に対する意識向上を達成するため、当事業による支援は重要であり、地域の環境美化活動に対する更なる区民の意識の向上、自然の保護や育成に今後も継続的に取り組んでいく必要がある。花苗等の提供方法については、効果的な方法を支援団体からの要望等を踏まえ、検証して実施していく。
16	継続	麻生里地・里山保全推進事業	980,000	980,000	生涯学習支援課	麻生区は、多摩丘陵の豊かな自然を残しながら、「しんゆり・芸術のまちづくり」などを中心にまちづくりが進められている。しかし、その一方で、心を和ませてくれる里山やのどかな田園風景が、年々失われつつある。このまちの先人達が築いてくれた里山の自然や、その自然とともにある貴重な文化や歴史を継承し、様々な団体や個人との協働や連携を図り、新しい里地・里山の魅力を引き出し、次世代へつなぐための事業を展開する。	予算削減の中でも区役所ロビーでの写真展を開催するなど新たな取組や小学校へ向いてのにんじん栽培等、新たな参加者や次世代育成の工夫を行った。	・今年度より予算を削減した中で、7～3月里地・里山カフェ（万福寺人形参事、からむし講座、ファーマーズレストラン）や人材育成交流事業（里地・里山ナチュラリストV、あさお里山こどもクラブII）を、講座のクオリティを下げないように工夫をして継続し、万福寺人形参事、からむし講座参加者や里地・里山ナチュラリスト養成講座の参加者の中からボランティア参加者が増えている。また万福寺にんじん栽培は区内小学校全校に種を配布し小学校へ向いての栽培補助等も行い、麻生区の農文化の伝承を次世代へとつなげた。 ・区役所ロビーと市民館オープンギャラリーでの写真展を行うなど、市民館に足を運ばない市民にも事業を知る機会を作り広めた。	次年度についても、麻生区の伝統文化や自然を記録・保全する活動に受講者が理解を深められるような講座を展開し、更に新たな参加者の開拓や次世代継承、人材育成に尽力する。
17	継続	ヤマユリ植栽普及促進事業	373,000	372,830	地域振興課	区内で自然環境再生への問題意識が高まっている中、地域の環境美化及び地域コミュニティを推進するために、地域の公園緑地管理運営協議会等と連携し、消えつつあるヤマユリの植栽活動を促進、支援し、補栽のノウハウの蓄積、普及を推進する。	・ヤマユリ植栽地の観察・管理活動 ・開花展示会を1回開催 ・講習会を2回開催（鉢植え、植替え） ・ヤマユリカフェへの協力 ・公園管理運営協議会等への広報活動	・地域団体との連携を図りながら植栽地の管理活動を進めることができた。 ・開花展示会では鉢植えヤマユリとパネル展示によりヤマユリ普及のための広報活動を行うことができた。 ・講習会や公園管理運営協議会等合同連絡会、やまゆりグループ発表会、ヤマユリカフェでの説明を通じて、ヤマユリに関する普及・啓発を行うことができた。	貴重となったヤマユリの再生を通じて、地域のコミュニティづくりの支援を行うとともに、講習会や広報を通じて幅広い世代の関心を喚起し参加者の拡大を図る。また、育成のノウハウを蓄積、普及することにより、地域の環境美化及び地域コミュニティの強化を促進していく。
18	継続	エコのまち麻生推進事業	1,150,000	769,221	企画課	区民一人一人が取り組める身近なエコ活動を啓発し、区民や市民活動団体等との協働による「エコのまち麻生」を推進する。	・緑のカーテンの実施 ・生ごみリサイクル講習会の実施 ・エコにかかる料理教室の開催 ・自然エネルギー利用促進などの講演会を開催	ゴーヤのカーテン、生ごみリサイクル講習会を例年通り実施する他、市民活動団体や企業と連携し、環境に関わる料理教室を開催した。	区内の豊かな緑・環境資源を活かすため、引き続き環境活動を啓発するターゲットを明確にし、あまり意識の高くない区民の掘り起し等、普及啓発活動を継続的かつ多角的な視点で、区民との協働により検討・実施していく。
19	継続	農と環境を活かした連携事業	5,232,000	5,023,845	企画課	区民会議第1期「地元農産物と地域交流」第2期「エコのまち麻生の推進」第3期「循環型のまち・生ごみリサイクル」、「グリーンアップ・里山ボランティア」の提言を踏まえ、区内大学や学校、農業振興地域の農業従事者、事業者等と連携しながら、区内にある農業資源（早野・黒川・岡上の農業振興地域、明治大学黒川農場）や緑地などの環境資源を活用した地域活性化や地域交流を促進する。	・協議会3回実施 ・専門部会3回実施 ・実施計画の作成	黒川地域連携協議会（3回）及び地域活性化検討専門部会の開催（3回）により、関係者相互の理解促進及び調整の構築した。地域活性化や地域交流の促進のため、地域連携イベントを実施した。今後、計画に農業資源や緑地等環境資源の活用を行っていくため、黒川地域実施計画を策定した。	継続して取り組みを行っていくため、協力体制の拡充や各種イベント等取り組みの効率的運営について検討の上事業を実施する。また、黒川地域での取り組みをモデルとして、他地域への展開も検討する。

5 地域資源活用

20	継続	麻生音楽祭開催事業	4,100,000	4,057,274	地域振興課	「しんゆり・芸術のまち」の推進と連携し、麻生区を中心に音楽活動をしている音楽団体、小学校・中学校・高等学校などの音楽グループが、それぞれの自主性を尊重しつつ、日ごろの活動の成果を披露し、相互の交流を図りながら、互いに学び合うという精神を生かすとともに、広く区民のきずなを深め、区政の推進と芸術文化の向上を図る場として実施する。	・区民主体の音楽祭の開催 ・舞台運営の講習会の開催	・6日間の開催により区民の発表の場の確保と相互交流の機会を提供できた。 ・新百合ヶ丘駅周辺のパナーフラッグ掲出やポスター等の広報活動を通じ、「音楽の街あさお」を多くの市民にPRできた。 ・30回記念として合同演奏やパネル展等を開催するなど、例年以上に充実した内容で開催できた。 ・バックステージ講習会により、舞台の裏方の人材育成を行うこともできた。	今後も地域の音楽団体のニーズを踏まえ、運営方法や開催内容等について検証しながら、引き続き開催していく。
21	継続	あさお観光資源の魅力紹介事業	1,200,000	1,197,640	地域振興課	・10月21日の「禅寺丸柿の日」を中心に、禅寺丸柿に関連するイベントや展示等を行う。 ・平成23年度に作成した観光ガイドブック「麻生の魅力」改訂版を作成し、広く配布を行う。	・禅寺丸柿に関連する様々なイベントを行い、禅寺丸柿の魅力発信を行った。 ・観光ガイドブック「麻生の魅力」改訂版を発行した。	・10月3日（土）に禅寺丸柿のもぎ取り体験を新規で行い20名の募集に対して100名の申込みがあった。また区内小学生への禅寺丸柿の啓発リーフレットの配布、アンケートの実施、小学生の描いた禅寺丸柿の絵の展示会等を行い、広く禅寺丸柿の周知ができた。 ・観光ガイドブック「麻生の魅力」は内容をリニューアルして5000部発行し、近隣自治体へ送付したり、区内公共施設や区役所窓口で配布したり、観光協会が関わるイベント等で配布し、広く麻生の魅力発信ができた。	・禅寺丸柿の日関連イベントについては好評だった柿もぎ体験を中心に、小学生の禅寺丸柿に関する作品の展示会等を行い継続して取り組む。また啓発用の懸垂幕の製作・掲示等も検討する。 ・観光ガイドブック「麻生の魅力」については2年後の改訂に向けて、より効果的な発行方法の検討を行う。
22	継続	KAWASAKIしんゆり映画祭野外上映会	925,000	924,170	地域振興課	自然豊かで芸術・文化の香り漂い、新たな故郷が感じられるまちづくりが望まれているなか、麻生区に定着している芸術・文化資源「KAWASAKIしんゆり映画祭野外上映会」を有効に活用して、「ふるさとあさお」「芸術・文化のまち麻生」を提供する。さらには、家族での夏休み最後の思い出作り場の場として提供する。	野外上映会等の開催：平成27年8月22日（土）麻生小学校校庭にて。来場者1,011人	・多くの区民が参加し、夏の終わりの思い出作り場の場を提供すると共に、KAWASAKIしんゆり映画祭の事前周知を行うことができた。 ・上映映画に関連したイベントや、子どもが参加できるアトラクションを実施することで、親子や地域住民の交流の場を提供することができた。	地域の夏のイベントとして定着し、多くの区民が参加して親子のふれあいの場にもなっている。親子が楽しめる作品の上映と集客の向上を目指すとともに、開催場所も検証しながら、区の魅力を内外に発信していく。
23	継続	ふるさとあさお再発見事業	318,000	318,000	地域振興課	【あさお古風七草粥の会】麻生区の豊かな自然の中で育まれた米・野菜・七草を用いて、「古風」の所以である焼いたお餅を加えたお粥を振る舞う。	あさお古風七草粥の会を1月7日開催	七草粥を振舞い、伝統文化を身近に感じる催しにより、多くの市民に伝統文化の価値を再認識してもらうことができた。	地域に伝わる伝統伝承文化を風化させず、後世に継承していくという観点から継続的な事業展開が必要である。
24	継続	イメージアップ推進事業	1,910,000	1,599,400	企画課				
24-1	継続	懸垂幕作成業務			地域振興課	麻生区のイメージアップを図るため、スポーツ・文化活動などの全国大会出場等を応援する懸垂幕を区役所壁面に掲出すると共に、新百合ヶ丘駅南口バスターミナルに芸術・文化関連イベントの柱巻き広報物を設置することで広く地域住民にPRする。	・新百合ヶ丘駅南口バスターミナルの柱を利用した芸術・文化のまちづくりの広報の実施（計2回）	計2回、約3か月にわたり「麻生音楽祭」及び「あさお芸術のまちコンサート」の開催について広く区民に周知すると共に、「しんゆり・芸術のまち」「芸術・文化のまち麻生」をPRできた。	柱巻き広報物の掲載内容及びデザインについては、関係者の意見を踏まえながら、今後のあり方について関係機関とも調整の上、検討を進める。

平成27年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	新規・継続	事業名	予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	取組の成果	今後の方向性
24-2	継続	新百合ヶ丘駅周辺のイベント支援事業			企画課	公民協働の取組のうち、「Kirara@アートしんゆり」を区の共催事業と位置付け、イベント開催に係る参加と支援を行う。	イルミネーションイベントに共催者として参加した。イルミネーションイベントの広報支援のために負担金を支出した。	イルミネーションイベント「Kirara@アートしんゆり」に共催者として参加した。また、イルミネーションイベントに広報支援を目的として負担金を支出した。これらの取組を通じて、「しんゆり芸術のまち」推進に寄与した。	芸術・文化のまちづくりは、区計画の主要な取組としても位置づけられており、民間が主体となった活動と連携した取組を行うことが重要であることから、適正な目的・負担額の範囲で継続していく。
25	継続	地域資源を活用したまちづくり推進事業	800,000	139,720	企画課	地域の特色や教育機関、企業等が持つ資源を活用し、各種団体と協働して魅力ある地域づくりに取り組むことを目的として、法人・団体等から地域資源を活用した事業の提案を受けて委託することで、区のイメージアップを図る。	昭和音楽大学と連携し、委託事業を実施	麻生区・6大学学協働ネットワークを通じて、明治大学「黒川農場収穫祭」で、昭和音楽大学卒業生等によるミニコンサートを開催し、芸術まちづくりの寄与と農のイメージアップを図った。	提案数が少ないため、地域に拠付いた教育機関や団体に働きかけ、連携を模索していく。
26	継続	あさお芸術のまちコンサート事業	2,209,000	2,167,230	地域振興課	平成12年度より始まった「あさおランチタイムコンサート」が会場を区役所ロビーから区内ホールへ移し名称を改め実施している。区民が気軽に音楽を楽しむことができる機会を設けることで、区のイメージアップを図るとともに、音楽家・音楽愛好家のネットワークづくりを促進する。	・コンサートの企画・運営 ・音楽家の発掘・人材育成 ・音楽家ネットワークの促進	・地域に根ざした活動を展開した結果、平均200～300人/回の来場者があり、新春コンサートでは市民館ホールが満席になるなど、区民に大変親しまれるコンサートを開催できた。 ・新春コンサートではあさお古風七草粥の会と、シネマサロンコンサートでは川崎市アートセンターと協力して実施するなど、他団体との連携を図りながら実施できた。 ・開催回数を115回以上重ねてきたことにより、応募・出演したことのある音楽家・音楽愛好家のネットワークの拡充にも取り組み、新たなネットワーク登録者を増やすことができた。	音楽を通して様々な交流を活性化し地域のつながりを強めるという目的に沿って、地域の音楽家・音楽愛好家と共に良いコンサートづくりができるよう、市民主体の運営をより一層目指すほか、開催場所の検証、他事業との協力・連携の推進、効果的な情報発信の検討などを行っている。
27	継続	しんゆり・芸術のまち推進事業	5,570,000	4,887,218	地域振興課	新百合ヶ丘駅周辺に集積する芸術関係のさまざまな施設や人材などの地域資源を活かし、事業者、教育機関、市民、行政等の連携により、「しんゆり」を中心とした活力ある地域経済の創造、豊かな地域社会の実現と芸術を通じた幅広い効果を追求する「しんゆり・芸術のまちづくり」「芸術・文化のまち麻生」の確立を目指す。	・「芸術のまちづくり」民間推進組織の支援 ・「芸術のまち」を中心とした地域情報の収集・発信 ・芸術関連イベントの支援 ・あさお芸術・文化交流カフェの開催（3回）	・NPO法人しんゆり・芸術のまちづくりと協働し、Kirara@アートしんゆり等において地域の大学生主体のイベントを実施 ・ホームページやSNSの活用、新百合ヶ丘駅南口の柱巻広報物等により、年間を通じて「しんゆり・芸術のまち」「芸術・文化のまち麻生」を広くアピール ・川崎市アートセンターを活用して区内芸術・文化団体が集う「あさお芸術・文化交流カフェ」を開催し、区内の芸術・文化活動団体間の交流・連携を促進 ・「しんゆりマルシェ」など地域の芸術関連イベントを支援	引き続き、「NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり」等と協働しながら、団体間の交流・連携を促進して芸術・文化のまちづくりを進めると共に、主に新百合ヶ丘駅周辺で取り組まれてきた「しんゆり・芸術のまち」の取組を麻生区全体に広げ、「芸術・文化のまち麻生」の確立を目指す。
28	継続	スポーツのまち麻生推進事業	3,410,000	3,403,956	地域振興課	川崎フロンターレ麻生グラウンドをはじめとした区内のさまざまなスポーツ資源を活用した事業を実施・支援するとともに、麻生スポーツセンターを核として、地域のスポーツ関係団体の活動の支援や情報交換を通して、魅力あるスポーツのまちづくりを推進する。	・区内スポーツ資源を活用した事業（青玄まつり等）の実施・支援 ・スポーツのまち麻生推進会議の開催・運営 ・柿生地区総合型スポーツクラブ開設に向けた連絡推進会議、啓発研修会及び各種スポーツ教室の開催 ・各種スポーツ大会への支援の実施 ・あさおスポーツねっと等によりスポーツ関連情報を発信	・麻生青玄まつりや川崎フロンターレ応援バスツアー（ホーム戦）の実施をはじめとする上記の取組を着実に実施したことにより、区内スポーツ活動の活性化と区民の健康増進に寄与することができた。	来年度も、より効果的・効率的な進め方を検証しながら、引き続きスポーツのまち麻生の推進に取り組んで行く。
29	継続	郷土岡上の歴史・文化継承事業	200,000	200,000	生涯学習支援課(岡上地区担当)	・岡上に関わる古くからの歴史資料を収集・整理し、資料集としてまとめ、将来に伝えていく。 ・地域に残る古文書や石造物などから岡上の歴史を学びあい、共に考えることにより、区民相互の交流を深め、地域の特色を活かしたまちづくりを推進する。 ・資料集の制作及び情報紙の発行により、岡上の魅力を広く発信する。	・過去2年間の事業活動の総括 ・活動報告書の作成	・過去2年間の事業活動の総括としてまとめを行い、これまでの足跡を基に報告書を作成することで、岡上地区の歴史資料の収集・整理をして将来に伝えていくことができ、また、岡上の魅力を広く発信することができた。	当初の事業目標を達成することができたので、事業を終了する。

6 地域コミュニティ活性化推進

30	継続	麻生区市民活動支援施設利用促進事業	1,476,000	1,474,548	地域振興課	麻生区市民活動支援施設「麻生市民交流館やまゆり」を麻生区における多目的な市民活動支援拠点として位置づけ、同施設の市民活動支援の推進を図ることを目的として業務を委託する。	・交流イベント、人材育成講座等の実施 ・地域ネットワークサイトの運営及び市民活動の情報提供・発信 ・市民活動相談窓口の運営	・麻生区市民活動支援施設「麻生市民交流館やまゆり」において、市民活動相談窓口の運営や情報提供、市民活動団体のネットワークづくりなど市民活動支援全般に関する業務を行うことで、市民の活動の場や機会を広げ、市民活動の更なる活性化につなげた。 ・施設に印刷機やパソコン等の機器を配置し、市民がより活動しやすい環境を整備した。	引き続き、地域活動への参加促進のための情報収集・提供を積極的に行うとともに、市民活動団体のネットワーク構築など市民活動支援全般に関する業務を行う。また、「地域人材コーディネーター」との連携についても関係機関と協議をしながら取り組んでいく。
31	継続	麻生区地域コミュニティ活動支援事業	785,000	681,526	地域振興課	「麻生市民交流館やまゆり」を通じ、麻生区における市民活動団体等の地域の新たなコミュニティづくりにつながる活動を支援することを目的に、資金助成事業を行う。	・提案型事業の募集・選定・実施 ・選定された事業の支援 ・事業実施報告会の開催	・6団体の事業に対して支援やアドバイスを行うことで、新たなコミュニティづくりにつながる市民団体の活動を開始し、また発展させる機会を提供した。	本事業は翌年度以降「麻生区市民活動支援施設利用促進事業」の中で、事業形態を見直した上で継続し、前年度からの募集開始など柔軟な運用を可能にしていく。
32	継続	町内会事業提案制度事業	800,000	593,780	地域振興課	地域住民相互のつながりや地域の課題解決力の強化を目指し、区内の町内会・自治会が行う地域課題解決等につながる事業を支援する。町内会・自治会から事業提案を受け、審査を経て、当該町内会・自治会に事業の実施を委託する。	27年度6件の提案があり、審査の結果5件が認定され、委託契約を締結している。	本事業の実施により、提案元の町会・自治会の地域の活性化、イメージアップ、住民の交流の促進等に資することができた。また、町会・自治会が自ら地域の課題を発見し、解決する課題解決能力の向上を図ることができた。	現状どおり事業を継続する。提案を行う町会・自治会が固定化する傾向があるため、広報に積極的に取り組み、今まで利用がなかった町会・自治会の本事業の利用を促進していく。
33	継続	麻生区地域功労賞事業	47,000	33,018	地域振興課	地域活動への関心を高めることを目的として、地域の活性化に貢献している個人または団体を麻生区長名で表彰する。	27年度は個人4件、団体1件の推薦があり、審査の結果、全て選考され、あさお区民まつりにおいて表彰した。	本制度については、表彰者には大きな励みとなっているほか、住民の地域活動への参加を促進するきっかけとなっており効果は大きい。	本事業は、費用に対して効果の高い事業であり、今後も一層効果的・効率的に実施できるよう検討しながら実施していく。
34	継続	麻生区市民活動支援施設活用事業	10,950,000	8,962,002	地域振興課	当該施設は、新百合ヶ丘南口・旧あさひ銀行グラウンド跡地の土地利用転換に伴い、応分の負担として開発業者が「市民活動の拠点施設」を整備することが決まり、平成19年4月に市に寄贈され、供用開始した。当該施設を多目的な市民活動の拠点施設として整備するとともに、市民の主体的な運営参画を実現することにより、市民活動の一層の推進を図る。	・市民活動の「場」の提供 ・地域のネットワークを活用した人材交流の推進	「麻生市民交流館やまゆり」の運営を行うNPO法人あさお市民活動サポートセンターに対し、施設の維持管理費を補助することで、市民活動に必要な「場」の提供を継続的にを行い、利用登録団体が活動しやすい環境を形成した。	麻生区の市民活動の拠点として、多くの市民活動団体に活動の場を提供するなど成果を上げてきており、引き続き支援を実施していくほか、開館から9年が経過していることから、計画的な設備の修繕等についても検討していく。
35	継続	麻生区多文化共生推進事業	573,000	563,076	生涯学習支援課	市民と協働により事業を実施する。多文化共生を題材とした講演会や講座、麻生区在住の外国人市民との交流を通じて、多文化共生社会への理解を深める。次世代を担う子どもも参加できる事業や、多文化共生社会への関心が薄い市民に対しても興味を持てるような様々な事業を企画しながら、麻生区内において多文化共生社会の実現を目指す。	多文化共生推進事業の活動を地域に広めながら、能動的に事業に参加する人材を増やした。	・国際関係に造詣を深められるような講座を企画し、受講者から「また参加したい」という声や継続的な参加を得た。 ・今年度は初めて落語から多文化に触れる講演会を開催し、200名を超える応募があった。 ・外国人を講師にした交流会では、小学生からシニアまで幅広い年代の参加者があり、多文化に触れられる効果的なイベントとなった。	次年度も幅広い世代からの参加を得られるような企画を指向しながら、事業を担う人材育成や外国人市民の参加などの課題についてもより効果的な取り組みを行う。
36	継続	市民活動推進に向けた地域人材の発掘・育成事業	300,000	83,810	生涯学習支援課	地域人材育成及び発掘による、市民活動・地域活動の活性化を図るため、外部団体への事業委託により、市民活動を支えるため、多様な分野で活躍する人材や地域課題解決のための人材育成など、総合的な視点に立った人材育成について、講義形式やワークショップ形式による「地域人材コーディネーター養成講座」を開催する。	「地域人材コーディネーター養成講座」を実施し、地域活動や市民活動へ誘導する重要性及び、まちづくり参画への関心を喚起した。	・11月から12月にかけて、「地域人材コーディネーター養成講座」を実施。講座の中では、世田谷区での実践例等の話から、参加者にはコーディネーターの役割の幅の広さについて理解が広がった。また、市民活動の大切さと関わる方の意識の高さなど、今まで感じたことのない部分を、実践者からの話を聞いたことは、参加者に対して説得力があった。	次年度については、「地域人材コーディネーター」の養成や育成の考え方を整理、対象の明確化などについて検討し、カリキュラムを明確化させた上で、講座を開催する。

7 区役所サービス向上

37	継続	区役所窓口等サービス充実改善事業	3,845,000	3,539,206	区民課	区役所サービス向上指針に基づき、市民に便利で快適なサービスの効率的、効果的かつ総合的な提供を図り、市民の視点に立った区役所サービスの充実を推進する。	・混雑期に案内を配置し、窓口案内等を強化した。●接遇スキル向上のため研修を実施した。 ・庁舎案内リーフレットを作成した。 ・TV通訳システムを活用して、外国人市民等へ円滑な対応を行った。	・混雑期に窓口案内等の臨時職員を配置することにより、スムーズで適切な案内・誘導ができた。 ・職員の接遇姿勢や接遇能力向上のため、各種接遇研修を3回実施し、60名以上の職員が受講した。 ・庁舎案内リーフレットを作成・活用し、的確でわかりやすい案内に役立てた。 ・ボイスコール機を引き続き活用することにより、わかりやすい窓口案内ができた。 ・窓口においてTV通訳システムを活用することで、外国人市民等に対して正確かつ円滑な接遇が行えた。 ・便利で快適な区役所サービスを提供するため、窓口環境の改善等、環境整備を行った。	市民の皆様は快適に区役所を利用していただけるよう、引き続きソフト・ハード両面から窓口サービスの充実・改善に取り組んでいく。区役所の老朽化等により、バリアフリー等への配慮や待合環境、相談窓口等の環境整備の必要性が増大していることから、経費を要するものについては、区役所全体で総合的に優先順位を決定し、計画的に整備を進める必要がある。
38	継続	区政・地域情報提供事業	1,717,000	186,720	企画課				

平成27年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	新規・継続	事業名	予算額 (円)	決算額 (円)	所管課	事業概要	実績	取組の成果	今後の方向性
38-1	継続	麻生区統計白書作成			総務課	平成16年度からの継続事業として、各種統計データの収集・分析から明らかになった麻生区特性を冊子にまとめ、転入者や区内の学校へ幅広く配布している。また、区のホームページにPDFファイル版を掲載し、紙媒体を入手できない区民や、区民以外の方々にも区役所の魅力や特徴を提供している。平成24年度に全面改定を行い、「もっと好きになる麻生」を7,000部作成した。また、平成25年度から平成26年度については、一部内容を修正し、それぞれ8,000部を作成、配布した。平成27年度については3年ぶりに全面改定を行い、内容の刷新を図る。	・平成27年度版統計白書の区内中学校等への配布 ・統計白書の内容を刷新し平成28年度版統計白書5,000部作成	平成27年度の統計白書については、区内中学校に配布し、各校から当該統計白書の配布・利用方法等に関するアンケート調査を行った。 また、全面改訂を行うに当たり、これまでの公募型企画提案方式から、区役所で作成した原稿の印刷・製本を業者委託する方式に変更したことにより、今後の改訂はニーズに即した情報に特化した内容で、毎年独自に改訂できるようにするとともに費用を削減した。	従来の計画では、3年ごとに公募型企画提案方式による全面的な改訂を行うこととしていたが、平成27年度に区役所で原稿を作成する方式に変更したことや印刷・製本費用に見合うだけの活用がなされていない現状にかんがみ、翌年度以降は適宜内容を精査・修正するとともに、配布方法を紙媒体から電子媒体に変更する方向での見直しを図る。
38-2	継続	麻生区広報関係事業			企画課	区役所職員の広報・広聴業務に関するスキルアップを図り、区民にとってわかりやすく親しみやすい広報・広聴活動を行う。	・ホームページの更新 ・広報・広聴研修の開催	・区計画ワーキンググループの部会でも課題となっていた効果的な広報の実践について学ぶため、専門家を招き広報研修を開催した。 ・第5期区民会議の提案を受け、麻生区ホームページの魅力・みどころ紹介のページを修正した。	「川崎市シティプロモーション戦略プラン」の方針を考慮しながら、区の広報広聴推進のあり方や広報研修の内容を検討し、引き続き、市民が利用しやすい情報提供などを、実務を通じて検証していく。

8 区の新たな課題即応

39	継続	区の新たな課題即応事業	5,000,000	1,618,056	企画課	年度途中に発生する新たな課題に、区長の権限で適切かつ迅速に対応するための事業を実施する。	・麻生市民館大ホール等の舞台設備品の購入 ・土砂災害対策啓発事業	年度途中に発生した区の新たな課題について、迅速に対応することができた。	次年度も、年度途中に区の新たな課題が発生した場合は、所管課や関係局と調整し、迅速な対応を行う。
----	----	-------------	-----------	-----------	-----	--	-------------------------------------	-------------------------------------	---

9 その他経費

40	継続	事務費等共通経費	1,407,000	1,220,865	企画課	地域課題対応事業の実施に必要な事務用品等の購入、郵便料、複写品費等を確保する。	地域課題対応事業の実施に必要な事務用品等を購入した。また、郵便料、複写品費等を適正に執行した。	地域課題対応事業の実施に必要な事務用品、AED等の購入、郵便料、複写品費等を執行した。	引き続き計画的に執行し、節約を図る。
41	継続	麻生区地域課題解決型提案事業	2,602,000	2,037,969	企画課	地域課題の発見と解決を図る新たな提案型事業を公募し、事業選定審査委員会の意見をもとに事業決定する。決定した事業は、市民活動団体等の提案団体と協働の理念にのっとり、事業を委託して実施する。	・事業進行の整理と検討 ・25年度事業報告会の実施 ・26年度中間報告、実施報告 ・27年度事業の募集、審査委員会による事業選定	26年度は7提案中5事業を選定し、団体からの提案を区と提案団体が協働して実施することで、多様な分野における区の課題の解決につなげることができた。また、27年度は5つの提案があり、審査委員会を通じて、必要性、新規性、実現可能性、具体的効果などに基つき選定し、4事業を実施する。	区では、対象を異にする4つの提案型事業を実施しており、他の提案型事業と目的、要件、事業内容等のすみ分けを明確にし、必要に応じて事業の併合等検討しながら実施していく必要がある。

合 計			77,323,000	64,080,249	
-----	--	--	------------	------------	--